

◇ドキュメンタリー「SAYAMA」完成上映会

見えない手錠をはずすまで — 50年、無実を訴え続けている人がいる！

① 10月31日(木) 17:25~20:45 (16:30開場)

*石川 一雄・早智子夫妻からの挨拶／落合 恵子さん、やくみつるさん、金 聖雄監督のトークを予定

場所:日本教育会館 大ホール 千代田区一ツ橋2-6-2 Tel. 03-3230-2833

② 11月1日(金)、2日(土)、3日(日) 各14:30~18:00~ (開場は30分前)

*金 聖雄監督より挨拶を予定

場所:YMCAアジア青少年センター 千代田区猿楽町2-5-5 Tel. 03-3233-0611

チケット(①②とも):前売り1,000円/当日1,200円 (090-4606-9634 吉野)

◇ちばレボcafe vol.2 「子どもたちを放射能から守るために」

11月7日(木) 19:00~21:00(18:30開場)

ゲスト:増田薫さん(放射能から子どもを守ろう関東ネット代表)

場所:ainowa(アイノワ) 千葉市中央区弁天1-8-10 田中ビル1F Tel. 043-285-1455

参加費:1,000円(オーガニックおむすび付き)+飲み物オーダー(別料金)

申込み:chibarevo@gmail.com (ちばレボ事務局) FAX 043-223-6651

◇虹の市 2013 ~虹色のように、いろんな人、いろんなお店が大集合！

11月17日(日) 9:00~15:00

場所:宗吾霊堂(成田市宗吾)

出店申込・問合せ:虹の市2013実行委員会 090-6704-9996 (会津)



グリーンズ千葉は「緑の党 グリーンズジャパン」との連携組織です。

ともに、グローバル・グリーンズ憲章の6つの理念

1. エコロジカルな知恵
 2. 社会的公正・正義
 3. 参加民主主義
 4. 非暴力・平和
 5. 持続可能性
 6. 多様性の尊重
- に基づき、「緑の社会ビジョン」実現をめざします。

271-0092 松戸市松戸1879-24 ほくとビル5F

Tel/Fax 047-360-6064

HP <http://greens-party-chiba.jimdo.com/>

入会・カンパ募集中！！

年会費:会員/3,000円 サポーター/1,000円 (郵便口座 00120-1-687008)



グリーンズ千葉便り 第3号 —地球規模で考え、活動は足元から—



Contents

- *グリーンズ千葉・合宿報告 at 鴨川自然王国
／海岸環境を考える@南房総
- *「限界集落からの新しい風！
地域マネーでつながる！棚田が輝く！」
～「鴨川地球生活楽校」主宰 林 良樹さんを訪ねて～
- *選挙ってなんだ —今夏の参議院選挙に思う—
- *イベント情報 ほか

夏の平砂浦(館山市) 写真/dave yamaya

海岸環境を考える @ 南房総

—海そのものが、生き物のように—



鴨川合宿2日目に企画された房総半島最南端での海岸視察。県内各地が抱える問題について見識を深めるツアーとなった。案内役は、サーファーの視点から海岸問題に取り組んできた鴨川市の上田真寿夫さん(サーフライダーファウンデーション・ジャパン初代事務局長)。

「千葉県は日本の海岸問題の縮図のようなところ」と上田さんは言う。海岸政策は日本の公共事業の中ではウェイトが低いので利害の対立が顕著にならないが、世界的に見れば突出した予算がついており、不必要な公共事業が行われている。

「波しか見ず、海岸を見る人は少ない」との上田さんの言葉は印象的だった。「どうしてそこに砂があるのか?なぜ、こんな建造物があるのか。人びとに知られていない」「海にぐるっと囲まれた日本だからこそ、海とどうつき合うかは憲法に加えたいくらいです」とのこと。一つの護岸工事が他の海岸・砂浜に悪影響を与え、



その補正のために新たな公共事業を招くという悪循環が生まれてしまっている。海そのものが一つの生き物のごとくあって、海岸には基本的に手を加えないほうが良いということなのだろう。復興事業と関連づけられている防波

壁の建設についても、「皆さんの周りに『造られた』海岸の延長線上に、東北の事業があるのです」と言い、税金を投入して際限なく続けられる公共事業の問題を訴えた。

また海岸はそれぞれの特性をもっていて、浸食の問題にしても解決策がそれぞれ異なる。だから海岸の保全のための、どこでも通用する技術的な処方箋は存在しない。一方、今回の視察によって、地域の市民が話合って合意形成をしていくプロセスがいかに重要であるかを改めて認識させられた。

(原文:長谷川 平和
まとめ:磯野 よう子)

グリーンズ千葉・合宿報告 at 鴨川自然王国 (8/17-18)

参院選が終わった後の8月17、18日に「豊かな自然と人々の笑いの絶えない」鴨川で合宿を行いました。25名の参加者は、お昼過ぎに鴨川自然王国に集合。アイスブレイクで和気あいあいになった後、4、5人ずつ分かれてもらって「参院選でどう思ったのか?」について、楽しいワールド・カフェ。次に地元・鴨川の田中さんによる参院選総括。20分ほどの話の後、Q&Aを経て、議論したいテーマを皆さんに自由に挙げてもらいました。出てきたのは、「非正規労働者の問題」「緑のビジョンの再確認」「自分が目指したいもの」と「これからの社会」の3つ。

それぞれのテーマは、いわば「花」です。皆さんの役割はミツバチや蝶で、自分が結果に貢献できるテーマの「花」に集まってもらいました。僕が印象に残ったのは「我々が目指しているのは、地域のサイクルの中での『作る・暮らす・食べる』や、『半農半Xの生き方』では?」との意見が出され、それを実現するために、ワークシェア、子育てシニアなどを通じて、人のつながりを助け、自然と共存した生き方、会社や国に縛られない生き方、あるいはさらに、モノづくりやアートを生活の中に取り込みたい、といった提案があったことでした。

(浅川 博之)



翌日は、ドイツに詳しい長谷川さんより、あちらの市民活動の様子を伝えるプレゼンがあり、その後ワールドカフェ。次に吉野さんから今後の方針の提案がなされ、それに対して「教育」「三宅洋平の選挙スタイル」「広報活動のあり方」と、やはり3つのテーマに分かれて熱心に語り合いました。特に、原発や自然エネルギー、環境などの政策においても、埋没しないような「他党との差別化、できれば緑の党のブランド化を図りたい」との大きな夢が共有されたのは特記すべきことでした。



夜には屋外のテーブルで、鴨川自然王国の新鮮なお野菜を使ったとびきりの料理を囲み、普段はなかなか持てないような、語らいの場を楽しみました。参院選を終え、エネルギーを再度、充足させたひとときでした。

